

柴咲コウ
オダギリジョー 満島ひかり
青山姫乃 味元耀大
斉藤陽一郎 岩瀬 亮 浦井のりひろ (男性プランコ) 足立智充 村川絵梨
不破万作 吹越 満

脚本・監督：中野量太

音楽 世武裕子 原作 村井理子「兄の終い」(CEメディアハウス刊)

第30回 釜山国際映画祭
オープンシネマ部門 正式出品

兄を 持ち運べる サイズに

BRING HIM
DOWN TO
A PORTABLE SIZE



11.28 FRI

製作：阪 和基、小林敏之、加田誠志、Eric Lee Boi、島 丹、篠田 卓、マクガックプロデューサー・横山 豊、企画プロデュース：小川真司、プロデューサー：片山武志、若林雄介、久保田 恵、アソシエイトプロデューサー：眞 茂昌、眞 貴樹
撮影：堀永 洋、照明：松本幸治、録音：横谷正幸、美術：大原清孝、装飾：榊さくら、スタイリスト：西園由起子、ヘアメイク：山田みずき、石川恭雄、編集：渡田隆一
音楽：岩瀬 亮、監修：岩瀬 亮、監製：本田大介、キャスティングディレクター：杉野 剛、ラインプロデューサー：天野祐亮、宣伝プロデューサー：平下敦子
製作：「兄をもち運べるサイズ」製作委員会(カルチュア・エンタテインメント / TCエンタテインメント / テレビ東京 / 北京信楽天地科技有限公司 Dinsong Culture Limited / バイブライン)
制作：プロダクション・プリンスヘッド / バイブライン 製作幹事：カルチュア・エンタテインメント、配給：カルチュア・パブリッシング、助成：文化庁文化芸術振興費補助金(日本映画製作支援事業)、独立行政法人日本芸術文化振興会
© 2023 兄をもち運べるサイズ / 製作委員会 2023年 / 日本 / カラー / アメリカンスタンダード / 5.1ch / 127分

きっと誰もが“家族”を想う、実話を基に描かれた家族たちのてんてこまいな4日間。



作家の理子は、突如警察から、兄の急死を知らされる。兄が住んでいた東北へと向かいながら、理子は兄との苦い思い出を振り返っていた。警察署で7年ぶりに兄の元嫁・加奈子と娘の満里奈、息子の良一と再会、兄を茶毘に付す。そして、兄たちが住んでいたゴミ屋敷と化しているアパートを片付けていた3人が目にしたのは、壁に貼られた家族写真の数々。子供時代の兄と理子が写ったもの、兄・加奈子・満里奈・良一が笑いあうもの…兄の後始末をしながら悪口を言いつづける理子に、加奈子は言う。「もしかしたら、理子ちゃんには、あの人の知らないところがあるのかな」もう一度、家族を想いなおす、4人のてんてこまいな4日間が始まった――。

中野量太 最新作

「湯を沸かすほどの熱い愛」「浅田家！」

大嫌いだっただメ兄が突然死んで、
”家族”が再集結 言いたかった想い、
聞きたかった言葉が、心を揺らす――



11.28 FRI

ムビチケカード 1,600円(税込) 絶賛販売中! ※一部劇場を除く

